

2012 年度後期学生授業評価アンケート集計結果に対するコメント —社会イノベーション研究科—

社会イノベーション研究科長 手塚 公 登

大学院の後期の授業評価の結果は、ほとんどの項目で平均値が 4.5 以上で、きわめて高いレベルにあると思われる。ただ、授業のレベルについては、適切でないとする学生が若干見られるので、改善の余地があるように思われる。大学院の授業は、少人数で行われ、自らの専門に近い科目を選択するので、総体的に高い評価が与えられるのは、ある意味当然のことかもしれないが、今後ともこうした高い評価が維持できるよう各教員が努力を継続していく必要があろう。

また、学生の予習、復習については 4.33 とやや低いので、学生側の主体的な努力を望みたい。